

エ 広域的な経済振興等を目指した取組みの効果

① 観光と連携した海ぶどう等水産業の活性化

北西部四村（恩納村、伊江村、伊平屋村、伊是名村）ではそれぞれの特色を生かして水産業の特産品を生産する一方、リゾート観光地である恩納村において加工流通施設を整備し、相互に連携を行うことで、北西部四村の活性化につながっている。

北西部四村のそれぞれの事業の進め方により、事業内容や経営内容は異なるが、この地域全体として経済の活性化、雇用の創出や「作る漁業」への夢を広げる事業効果をもたらしている。

特に、恩納村で始めた海ぶどうの養殖は、沖縄ブランドの先駆けとして県内に広まり、沖縄県の特産品となっている。

また、伊平屋村では本事業で整備した施設が、沖縄一の陸上漁業養殖場であることから、内外からの視察も多い。現在、沖合い養殖場を整備し試験養殖中であるが、この運営ノウハウも本事業から導かれたものである。

（北西部四村観光連携型養殖場整備事業：恩納村、伊江村、伊平屋村、伊是名村）

販売センターと
販売風景 →

養殖施設 ↓



② 北部近隣市町村との広域的な観光産業や経済振興を目指した取り組み

東村では、既存の「村民の森つつじ園」の充実を図り、県内初の冒険教育施設であるプロジェクト・アドベンチャー施設をはじめ、オートキャンプ場やパターゴルフ場などの体験滞在型交流施設を整備し、体験・交流の拠点として村おこしに活用しており、環境共生型のリゾート空間を作り出す先駆的な取り組みとなっている。

地域資源を生かした個性豊かな取り組みが評価され、平成14年度地域づくり総務大臣賞を県内の自治体としては初めて受賞している。

ここで開催されるつつじ祭りは、山原（やんばる）の春を彩るイベントとして、県民の間に定着し、県内外にも広く知られるようになり、平成15年にはこのつつじ祭りなどでの地域おこしが評価され、沖縄タイムス賞（自治賞）を受賞している。また、「沖縄花のカーニバル」の一環として、沖縄県及び北部圏域の観光と経済振興にも寄与している。

（村民の森整備事業：東村）



村民の森でのセカンドスクールの様子